

やんちゃキッズの大冒険

1 ねらい

幼児が、様々な生活体験や自然体験を通して、意欲的に物事に取り組む姿勢や人間関係能力を育むとともに、自然体験の大好きな子供に育てる。

2 期 日

- ① 夏キャンプ : 令和元年 8月21日(水)～24日(土) 3泊4日
 (夏キャンプボランティア研修 : 令和元年 7月 6日(土)～ 7日(日) 1泊2日)
 (夏キャンプ事前説明会 : 令和元年 8月12日(月・祝) 日帰り)
 ② 秋キャンプ : 令和元年10月12日(土)～13日(日) 1泊2日
 (秋キャンプ事前説明会 : 令和元年 9月28日(土) 日帰り)
 ③ 冬キャンプ : 令和2年 1月25日(土)～26日(日) 1泊2日

3 対 象

- ①幼児(年長児) ②幼児(年中児) ③幼児(年長児)

4 参加人数/募集人数/応募者数

- ① 夏キャンプ : 24名/24名/ 57名
 ② 秋キャンプ : 28名/30名/ 30名
 ③ 冬キャンプ : 29名/30名/ 61名

5 講師・スタッフ

- ① 夏キャンプ : 法人ボランティア11名 国立立山青少年自然の家職員
 ② 秋キャンプ : 法人ボランティア10名 国立立山青少年自然の家職員
 ③ 冬キャンプ : 法人ボランティア13名 国立立山青少年自然の家職員

6 夏キャンプボランティア研修

参加者 : 法人ボランティア11名 スタッフ : 国立立山青少年自然の家職員

	午 前	午 後	夜
7月6日(土) 1日目	○オリエンテーション ○キャンプのコンセプト確認 ○アイスブレイク ○昼食作り	○沢&トントンの森散策 ○テント設営 ○野外炊事(夕食)	○グループタイム (危険予測と対策) <不動棟テント泊>
7月7日(日) 2日目	○野外炊事(朝食) ○高峰山登山 ○昼食(食堂)	○研修のまとめ	

7 後援・協力

富山・石川・新潟各県教育委員会 富山県こども支援課 富山県国公立幼稚園・こども園長会
 富山県私立幼稚園・認定こども園協会 富山県保育士会 富山県民間保育連盟 北日本新聞社

8 日 程

①夏キャンプ

	午 前	午 後	夜
8月21日(水) 1日目		○はじめてのつどい ○班活動(班旗作成・テント設営) ○入浴	○夕食 ○ナイトハイク、星空観察 <不動棟テント泊>
8月22日(木) 2日目	○野外炊事(朝食) ○室内宝探しゲーム ○昼食	○大丸山登山 ○入浴 ○野外炊事(夕食)	○ナイトハイク、星空観察 <不動棟テント泊>
8月23日(金) 3日目	○野外炊事(朝食) ○探検ゲーム ○昼食	○沢遊び ○入浴 ○野外炊事(夕食)	○キャンドルファイアー <不動棟テント泊>
8月24日(土) 4日目	○野外炊事(朝食) ○テント撤収・荷物片づけ ○自由遊び	○昼食 ○おわりのつどい	

②秋キャンプ

	午 前	午 後	夜
10月12日(土) 1日目	○はじめのつどい ○グループでふれあいタイム ○昼食	○探検ゲーム・創作活動 ○夕食準備・片付け、	○入浴・班タイム ○絵本読み聞かせ <本館泊>
10月13日(日) 2日目	○体をほぐす体操 ○朝食 ○トントンの森探検	○昼食、荷物整理 ○班タイム ○おわりのつどい	

③冬キャンプ

	午 前	午 後	夜
1月25日(土) 1日目	○はじめのつどい ○昼食	○雪遊び・宝探し ○シチュー作り(夕食)	○キャンプファイター ○絵本読み聞かせ <本館泊>
1月26日(日) 2日目	○朝の体操 ○朝食 ○雪遊び(ライオンズの森入口)	○昼食 ○班タイム ○おわりのつどい	

9 参加幼児保護者からの事後アンケート

- 最初3泊4日は長いと感じていましたが、様々な活動ができてよかったです。4日目に班の友達と手を繋いでいる写真があったので、4日間という時間が子供の関係性を深めるのによい期間だと感じました。
- 今まで自己中心的な所も多々あったが、キャンプ後は話を聞いて理解し、行動するといった事が今まで以上にできるようになり、聞き分けがよくなった。
- キャンプでのことを覚えていて、「自分のことは自分です」という約束は、家族内での合言葉になっています。

10 成果

- 夏キャンプでは、昨年との変更として2泊から3泊にした。1泊増えたことで、自分であることを特に意識し事業を展開することができた。その成果として、子供たちが家に戻ってから、お手伝いや整理整頓など、自立心が芽生えたという意見が多くあった。
- 秋キャンプは、初めて年中児を対象にして開催した。2つの約束を掲げ、「できたねカード」を作成し、できたことにシールを貼っていく手法を設けた。その効果として、子供たちの「やってみる」「できる」という意欲が向上していた。
- 冬キャンプでは、自立・協力・感謝の心を育むことを目標にした。期間中は、何度も目標を確認し、子供たちは目標への意識を切らさずに活動することができた。



11 今後の課題

- 夏・秋のキャンプ時は台風の接近があり、活動プログラムに多少影響がでた。事前に準備はしていたが、情報の共有がずれることもあったため、様々な状況に対応できるよう準備をしていく必要がある。

